

吹上製缶株式会社

竹崎顕 × 濱中治

濱中 金属製品の製造を続ける吹上製缶株式会社さん。製缶業の内容を教えてください。

竹崎 弊社の業務を簡単にご説明すると、発電機エンジンの付属部品製造です。分厚い鉄板を加工して、重油や軽油などを入れる公文書扱いの燃料タンクや、セツト品の架台を製造しているんですよ。現場のスタッフは夏になると溶接の熱で汗だくになりますね。弊社の工場には水冷式のクーラーがあるので、ずいぶん作業しやすいと思います。また、家庭用の3倍もあるお風呂があるので、スタッフは仕事が終わると汗を流して帰宅できるんですよ。

竹崎 弊社の取引先は、ヤンマー株式会社様やその関連会社様が8割以上を占めています。しかも、弊社はただの下請けでなく重要なパートナーとして、設計の段階からご相談をいただいたり、意見交換ができたりするほど良い関係を築いているんですよ。二人三脚で走り続けることに大きなやりがいを感じているところですよ！

濱中 御社ならではの長所をお聞かせください。

竹崎 1966年の創業から54年間にわたり築いてきた信頼と実績です。弊社は設計から製造・加工まで一貫した体制で、クライアント様のご要望には柔軟に対応してきました。近年は改善活動も推進継続し、ヤンマ

様に製作仕様提案も展開しさらに生産性を上げるなど、昔ながらの技術に加え新しい取り組みにも挑戦しているところです。

濱中 吹上製缶株式会社さんの将来が、私もますます楽しみになってきましたよ。ぜひスタッフさんや今の若い人たちに伝えたい言葉をお聞かせください。

竹崎 もっと勇氣を持って仕事に挑戦してもらいたいですね。私が大切にしている言葉で「お金を失うことは小さなこと。信頼を失うことは大きなこと。でも勇氣をなくすことはすべてを失うこと」という格言があります。私自身こそが、常にこの言葉を忘れず事業に邁進するつもりですよ！



代表取締役 竹崎顕

高校卒業後、飲食店でアルバイトを始める。やりがいを感じ、そのまま正社員として働き出すも、勤務先の飲食店が営業を停止。吹上製缶(株)を経営する父親に声をかけられ、同社に入社した。両親が急逝したことをきっかけに事業を承継。人材育成にも力を入れている。

顧客と二人三脚で タンク・架台の製造



〒660-0806
兵庫県尼崎市金楽寺町1-6-53
【TEL】06-6481-1205
【事業内容】製缶業
【設立】昭和41年2月
【従業員数】9名
【主な取引先】ヤンマー株式会社／ヤンマーエネルギーシステム株式会社
【ホームページ】
<http://fukiageseikan.jp>



野球解説者 濱中治

1996年に阪神タイガース入団。2002年には第15回IBAFインターコンチネンタルカップ日本代表に選出された。引退後、二軍打撃コーチとして阪神タイガースに復帰。2019年に一軍打撃コーチを務め、リーグ3位とCS出場に貢献した。現在は野球解説者として活躍中。